

バレオンカプセル 100mg バレオン錠 200mg

【この薬は？】

販売名	バレオンカプセル 100mg Bareon Capsules	バレオン錠 200mg Bareon Tablets
一般名	塩酸ロメフロキサシン Lomefloxacin Hydrochloride	
含有量	1 カプセル中 110.4mg (ロメフロキサシンとして 100mg)	1 錠中 220.8mg (ロメフロキサシンとして 200mg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、ニューキノロン系抗菌剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、細菌のDNA（デオキシリボ核酸）の複製に必要な酵素の作用を妨げることにより、細菌の増殖をおさえ、殺菌作用を示します。
- ・次の病気の人に処方されます。

<適応症>

表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、肛門周囲膿瘍、骨髓炎、関節炎、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、

前立腺炎（急性症、慢性症）、尿道炎、感染性腸炎、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、眼瞼膿瘍、涙嚢炎、麦粒腫、瞼板腺炎、角膜炎（角膜潰瘍を含む）、中耳炎、副鼻腔炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎

＜適応菌種＞

ロメフロキサシンに感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、腸球菌属、淋菌、モラクセラ（ブランハメラ）・カタラーリス、大腸菌、赤痢菌、サルモネラ属、シトロバクター属、クレブシエラ属、エンテロバクター属、セラチア属、プロテウス属、モルガネラ・モルガニー、プロビデンシア属、インフルエンザ菌、緑膿菌、アシネトバクター属、カンピロバクター属、ペプトストレプトコッカス属

- ・この抗菌薬は自己判断で飲むのを止めたり、飲む量を減らしたりしないでください。指示どおりにきちんと飲まないと、治療効果が低下するばかりでなく、原因菌がこの薬の効かない菌に変化したり、他の抗菌薬も効かなくなったりする可能性があります。医師の指示どおりに飲むことが大切です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にバレオンカプセルまたはバレオン錠に含まれる成分で過敏症のあった人
- ・フルルビプロフェンアキセチルまたはフルルビプロフェンを使用している人
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人
- ・小児

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・てんかんなどのけいれん発作をおこすことがある人または過去にてんかんなどのけいれん発作をおこしたことがある人
- ・過去に同類薬（キノロン系抗菌剤）で過敏症のあった人
- ・重症筋無力症の人
- ・大動脈瘤や大動脈解離のある人、過去に大動脈瘤や大動脈解離のあった人、大動脈瘤や大動脈解離のあった人が血縁にいる人、大動脈瘤や大動脈解離の危険因子（マルファン症候群など）のある人
- ・腎臓に重い障害のある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用してはいけない薬[フルルビプロフェンアキセチル（ロピオン）、フルルビプロフェン（フロベン等）]や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

○大動脈瘤や大動脈解離のある人、過去に大動脈瘤や大動脈解離のあった人、大動脈瘤や大動脈解離のあった人が血縁にいる人、大動脈瘤や大動脈解離の危険因子（マルファン症候群など）のある人は、画像検査が行われることがあります。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量と回数は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	バレオンカプセル 100mg	バレオン錠 200mg
一回量	1～2 カプセル	1 錠
飲む回数	1 日 2～3 回	

●どのように飲むか？

コップ 1 杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して 2 回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1 回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は 1 回とばして、次の時間に 1 回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬を使用する前に患者さんは以下のことについて十分に理解できるまで説明を受けてください。
 - ・日光にあたることはできるだけ避けてください。
 - ・光線過敏症（日光のあたる部位に痒みや痛みを伴う発疹や、水ぶくれができやすい。日焼けをした場所が傷痕になったり、色がなかなか消えない。）や全身発疹等の皮膚症状があらわれることがあるので、このような症状があらわれた場合は飲むのをやめてください。これらの症状があらわれた場合には、ただちに医師に連絡してください。
- ・大動脈瘤、大動脈解離があらわれることがあるので、腹部、胸部、背部に痛みなどの症状があらわれた場合は、ただちに受診してください。これにより画像検査が行われることがあります。
- ・急性腎障害等の重篤な腎障害があらわれることがあるので、定期的に腎機能検査が行われます。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使用することはできません。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・高齢の人は、腱障害があらわれやすいので、腱周辺の痛み、浮腫、発赤等の症状があらわれた場合は、ただちに受診してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき）、息苦しい
急性腎障害 きゅうせいじんしょうがい	尿量が減る、むくみ、体がだるい
偽膜性大腸炎等の血便を伴う重篤な大腸炎 ぎまくせいだいちょうえんなどのけつべんをともなうじゅうとくなだいちょうえん	腹痛、血の混ざったゆるい便が出る、ゆるい便が出る、発熱、頭痛、吐き気、冷汗が出る、顔面蒼白、手足が冷たくなる、お腹が張る、水のような便が出る、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色）、激しい腹痛、下痢、嘔吐（おうと）
低血糖 ていけつとう	お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、意識の低下
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	手足のこわばり、手足のしびれ、脱力感、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる
痙攣 けいれん	顔や手足の筋肉がびくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
口蓋弓腫脹 こうがいきゅうしゅちょう	喉の奥のはれ
アキレス腱炎、腱断裂等の腱障害 アキレスけんえん、けんだんれつなどのけんしょうがい	アキレス腱の痛み・はれ、歩行障害、注射した指の関節を曲げにくい、注射した指の関節を伸ばしにくい、注射した指の関節が曲がらない
中毒性表皮壊死融解症（TEN） ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう（テン）	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ
皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson症候群） ひふねんまくがんしょうこうぐん（ステーブンス-ジョンソンしょうこうぐん）	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
QT 延長 キューティーえんちょう	めまい、動悸、気を失う
心室頻拍（Torsade de pointes を含む） しんしつひんぱく（トルサード ポイントをふくむ）	めまい、動悸、胸の不快感、気を失う

重大な副作用	主な自覚症状
大動脈瘤 だいどうみやくりゅう	声がれ、食べ物や水が上手く飲み込めずむせる、息苦しい、食べ物が飲み込みにくい、胸の痛み、背中の痛み、腹痛
大動脈解離 だいどうみやくかいり	激しい胸の痛み、激しい背中の痛み、激しい腹痛
精神症状(幻覚、せん妄) せいしんしょうじょう(げんかく、せんもう)	実際には存在しないものを存在するかのよう感じる、軽度の意識混濁、興奮状態、幻覚、妄想
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	咳、息切れ、息苦しい、発熱
重症筋無力症の悪化 じゅうしょうきんむりよくしょうのあつか	まぶたが重い、まぶたが下がる、物がだぶって見える、筋肉の疲労感、食べ物が飲み込みにくい

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、ふらつき、むくみ、体がだるい、発熱、疲れやすい、けいれん、脱力感、顔や手足の筋肉がぴくつく
頭部	めまい、意識の消失、頭痛、意識の低下、一時的にボーとする、気を失う、実際には存在しないものを存在するかのよう感じる、軽度の意識混濁、興奮状態、幻覚、妄想
顔面	顔面蒼白、血の気が引く
眼	目の充血やただれ、まぶたが重い、まぶたが下がる、物がだぶって見える
口や喉	喉のかゆみ、吐き気、嘔吐、喉の奥のはれ、唇や口内のただれ、声がれ、食べ物や水が上手く飲み込めずむせる、食べ物が飲み込みにくい、咳
胸部	動悸、息苦しい、胸の不快感、胸の痛み、激しい胸の痛み、息切れ
腹部	腹痛、お腹が張る、激しい腹痛、お腹がすく
背中	背中の痛み、激しい背中の痛み
手・足	手足が冷たくなる、手足のふるえ、手足のこわばり、手足のしびれ、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える、アキレス腱の痛み・はれ、歩行障害、注射した指の関節を曲げにくい、注射した指の関節を伸ばしにくい、注射した指の関節が曲がらない
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹、皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する

部位	自覚症状
筋肉	筋肉の痛み、筋肉の疲労感
便	血の混ざったゆるい便が出る、ゆるい便が出る、水のような便が出る、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色）、下痢
尿	尿量が減る、尿が赤褐色になる

【この薬の形は？】

販売名	バレオンカプセル 100mg	バレオン錠 200mg
形状	硬カプセル 	円形の錠剤（割線入り） 
大きさ	長さ：15.8mm 直径：5.5mm	直径：9.1mm 厚さ：4.3mm
重さ	220mg	280mg
色	頭部、胴部： 不透明な白色	白色
識別コード	HC198	HC197

【この薬に含まれているのは？】

販売名	バレオンカプセル 100mg	バレオン錠 200mg
有効成分	塩酸ロメフロキサシン	
添加剤	乳糖水和物、カルメロースカルシウム、ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸ポリオキシシル 40、ステアリン酸マグネシウム（カプセル本体）ゼラチン、酸化チタン、ラウリル硫酸ナトリウム	乳糖水和物、カルメロースカルシウム、ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、マクロゴール 6000、酸化チタン、ポリビニルアセタールジエチルアミノアセテート、カルナウバロウ

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：ヴィアトリス製薬合同会社

メディカルインフォメーション部

フリーダイヤル 0120-419-043

受付時間：月～金 9時～17時30分

（土日祝および当社休業日を除く）